

駅 STATION

観賞日 2019・3・12

制 作 1981 年

上映時間 132 分

配 給 東宝

監 督 降旗康男

脚 本 倉本聡（オリジナル）

出 演 高倉健（三上英次）、いしだあゆみ（英次の妻・直子）、烏丸せつ子（すず子）
倍賞千恵子（桐子）

【あらすじ】

北海道の駅を舞台に、主人公の警察官英次と彼を取り巻く女姓との出会いと別れを全編 3 部構成で描く。

（1 部：銭函駅・直子）

浮気をした妻に銭函駅で苦渋の選択をして別れを告げる英次の苦悩。敬愛する上司が指名手配犯に射殺される導入部。

（2 部：増毛駅・すず子）

通り魔事件の犯人を追う英次は増毛駅前の食堂で働くすず子に接近。すず子は犯人の妹であり、すず子を張り込み中におびき出した犯人を逮捕する。

（3 部：増毛駅・桐子）

英次はふらっと入った居酒屋で女将の桐子に心を惹かれ、程なく二人は結ばれる。初詣でに出かけた折、桐子を見つめる男と遭遇。以前、上司を射殺した指名手配犯を思い出した英次は、桐子の自宅を訪問し部屋にいた手配犯を射殺した。一時は警察官をやめ桐子との新しい生活を決意した英次であったが桐子の涙を見て、退職届を破った。

【解説】

■ポイント：倉本聡による高倉健のためのオリジナル脚本

北海道の似合う倉本＝高倉コンビ（因みに高倉は九州男児）

高倉健は前年の「遥かなる山の呼び声」に続き 2 年連続日本アカデミー賞主演男優賞を受賞（制作当時 50 歳で俳優として最も脂の乗った時期）

倉本聡も最優秀脚本賞を受賞

■見どころ：いしだあゆみの敬礼をしながらの泣き笑い表情

高倉・倍賞の二人芝居（赤ちょうちんの女将と客）

円谷幸吉の遺書、八代亜紀の舟歌等の効果的な小道具

■こぼれ話：2016 年に JR 留萌線の留萌駅～増毛駅間は廃線となった。